

LEDモジュールの取外方法

中央部を持って取り外すと、LEDモジュールが破損することがあります。

トリムラインLED照明器具/PWM方式調光型

DNL

DNライティング株式会社

TRE-APD

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

17年05月09

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
取付工事には電気工事士の資格が必要です。必ず電気工事店へご依頼ください。

この説明書は取付工事が終わりましたら器具をご使用になるお客様に必ずお渡しく下さい。

営業本部/東京都品川区西五反田1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページ<http://www.dnlighting.co.jp>をご確認ください。

安全上の注意



警告

- 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
- 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
- 電源送り容量は合計5Aまでとし、器具間での電源送りによる連続使用可能灯数は、取扱説明書のご使用上の注意にしたがってください。容量オーバーした場合、火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、器具の質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。
- 電源接続の際は、取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。接続が不完全ですと、感電、火災の原因となります。
- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。
- 器具に搭載している直流電源装置やLEDモジュールの部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。
- 器具の取り付け時は、工具やLEDモジュール端部などで電線被覆にキズをつけないでください。感電、火災の原因となります。
- 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。
- 適合LEDモジュール以外は使用しないでください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、火災の原因となります。
- アース工事は、電気設備技術基準にしたがって確実にこなしてください。アースが不完全ですと感電の原因となります。



注意

- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、直流電源装置の故障、火災の原因となることがあります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 暖房機器、火気の上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
- 風呂場など湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 床、什器等の清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。
- 引火する危険性の雲丹気（ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。
- 腐食性雲丹気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 器具を被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の变色や変質、火災の原因となることがあります。
- 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意して、器具と造営材との間隔をとってください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。
- 可燃性造営材に取り付ける場合には周囲の造営材から30mm以上離して設置してください（取付面は除く）。火災の原因となることがあります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。
- 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- その他、工事上の制約がありますので、器具の取り付けに際しては「電気設備技術基準」にしたがって施工してください。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。不点灯、チラツキ、故障の原因となることがあります。
- 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。
- 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。
- 器具を並列に取り付ける場合は、器具1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、直流電源装置やLEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。
- 器具間の電源送りをする場合は、渡りコードSKP（別売）を使用し、連続可能灯数は10灯以内としてください。
- 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じたり、照明器具に若干のうなり（音）を生じる場合があります。
- 施工方法、使用方法によっては、電圧降下が生じることがありますので次の事項を守ってください。
①器具およびその配線と通信ケーブルなどは、近接しないように施工してください。
②器具およびその配線と電子機器とをあまり近づけないようにしてください。
③器具に接近してワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に動作しない場合があります。また、赤外線リモコン機器や盗難防止センサーを近接して使用すると機器が正常に動作しない場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- LED素子は、経時的に光色、明るさのパラツキが発生する場合があります。ご了承ください。
- 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。
- LED素子にはパラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合がございます。ご了承ください。
- 電源を投入しても点灯までに1～2秒かかることがあります。
- 調光する際は、指定調光器を必ず使用してください。
- 調光用照明器具は、直流電源装置内の使用部品の微弱振動により若干のうなり（音）を生じます。竣工引渡し直後の未使用の部屋などにおいては、うなりが大きく聞こえることがあります。家具や空調が設置された実居住空間の中では暗騒音によるマスキング効果によって、うなり音が聞き消され聞こえなくなりますが、特に静かな環境が要求される場所（録音スタジオや寝室など）への取り付けの際は、うなり（音）を考慮して設置してください。
- 漏電遮断器の種類によって直流電源装置からの高周波の漏洩電流の影響により漏電遮断器が動作する場合があります。この場合には高周波対応型漏電遮断器を使用してください。
- 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDランプ（LEDモジュール）故障の原因となることがあります。
- LEDモジュールを接続しないまま電源を入れないでください。LEDモジュール接続時、LEDモジュール故障の原因となる場合があります。万一、LEDモジュール接続前に電源を入れた場合は電源を切り、1分以上経ってからLEDモジュールを接続して、再度、電源を入れてください。

保守・点検

- 照明器具および関連部品（直流電源装置、ランプ、モジュール含む）には寿命があります。
- 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C 8105-1解説による）
※LED光源は寿命がきても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

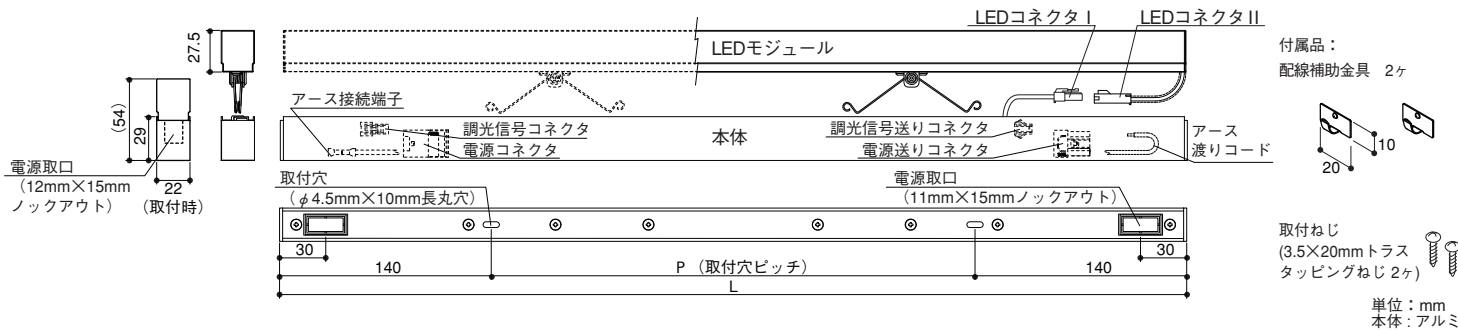
定格

| 形式 | 器具全長 L(mm) | 取付穴ピッチ P(mm) | 本体質量 (kg) | 入力電圧 (V) | 入力電流 (A) | 入力電力 (W) |
|---------------|---------------|-----------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| TRE850□□-APD | 850 | 576 | 0.7 | 100 | 0.21 | 22 |
| TRE1000□□-APD | 1000 | 726 | 0.8 | 100 | 0.26 | 26 |
| TRE1250□□-APD | 1250 | 976 | 0.9 | 100 | 0.31 | 31 |
| TRE1500□□-APD | 1500 | 1226 | 1.1 | 100 | 0.36 | 35 |

・周波数50/60Hz共用 ・TRE-APDでの電源送りは最大10灯以内としてください。

・形式の□□は色記号（NはLED昼白色、WはLED白色、WWはLED温白色、L30、L28はLED電球色）、Aは電圧100V、PDは調光

各部の名称と外形寸法



付属品：
配線補助金具 2ヶ

取付ねじ
(3.5×20mmトラス
タッピングねじ 2ヶ)

単位：mm
本体：アルミ

取付方法

電源線と調光信号線は間違えないように結線してください。間違えて結線した場合、照明器具が一瞬で故障して調光ができなくなります。接続には必ずDKP2500片切り、SKC2500片切りを使用し、コネクタ電線を無理に引き出さないでください。

1.LED モジュールの取り外し

・LEDモジュールを引っ張り、パネを指でつまんで受け金具から外す。

2.器具の取付け

・電源取口のノックアウトを、サイド板はペンチ等で挟んで剥ぎ取り、底面はマイナスドライバーなどを用いて中側から押し込んで取りまします。
・平らな面に付属の取付ねじ（3.5×20mmトラスタッピングねじ）で取付穴を利用して器具が歪まないように確実に固定してください。
【注意】器具を並列に取り付ける場合は、器具1台分の間隔以上離してください。
LEDが暗くなったり、短寿命の原因となることがあります。

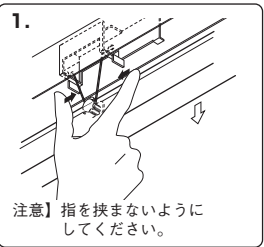
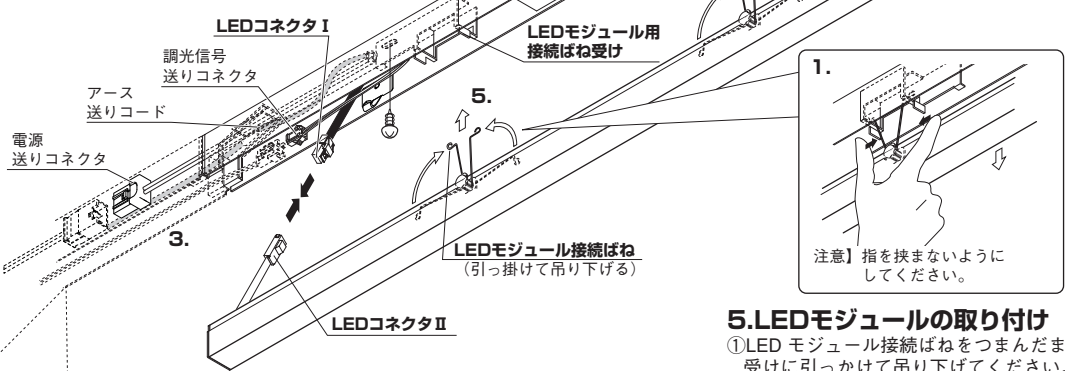
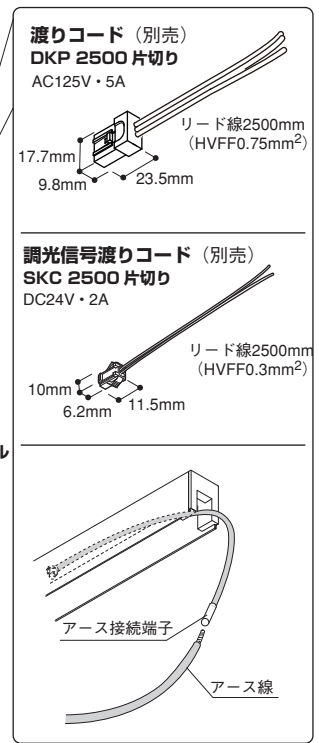
3.器具の連結方法（器具を複数設置する場合）

・器具を近接して設置する場合は、各器具の送りコネクタとコネクタを接続してください。
・器具間の配線を延長する場合、渡りコードSKP（別売）／調光信号渡りコードSKC（別売）を使用してください。
・アース渡りコードとアース接続端子を圧着してください。

4.電源と調光器(PWM 制御方式) の接続

下記の結線が終わりましたら、配線補助金具で電線を固定してコネクタは器具内へ収納してください。

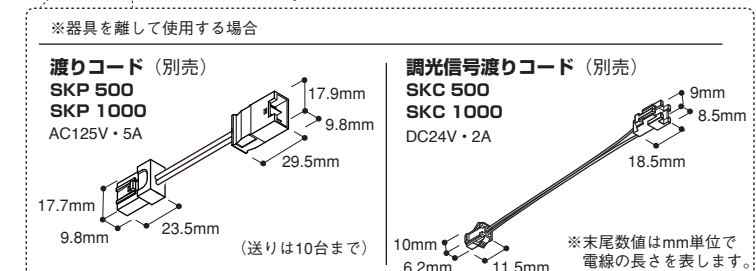
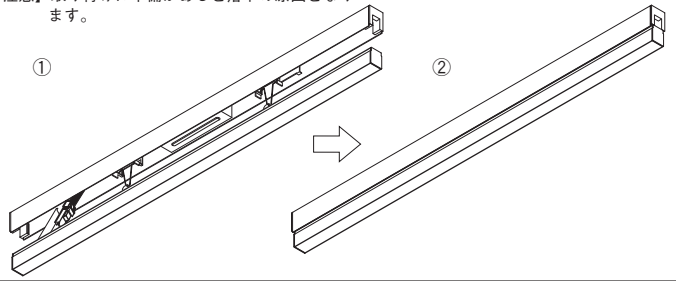
- (1)電源の接続
渡りコードDKP2500片切り(別売)を使用して接続してください。
- (2)調光信号の接続
調光信号渡りコードSKC2500片切り(別売)を使用して調光信号と接続してください。
- (3)アースの接続
アース線とアース接続端子を圧着してください。



【注意】コネクタは器具内へ収納してください。
【注意】電源と調光信号の送りをしない場合、送りコネクタは器具内へ収納してください。

5.LEDモジュールの取り付け

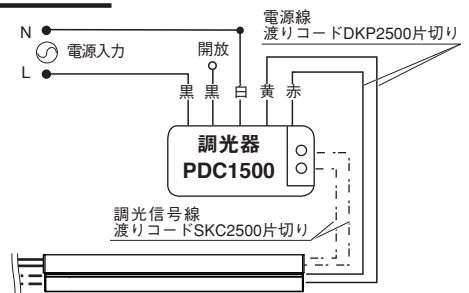
- ①LEDモジュール接続ばねをつまんだまま、本体のLEDモジュール用接続ばね受けに引っかけて吊り下げてください。
 - ②LEDコネクタIIとLEDコネクタIを接続し、器具内へ押し込み、電線を挟み込まないようにLEDモジュールを押し上げ本体に取り付けてください。
- 【注意】取り付けに不備があると落下の原因となります。



6.電源の供給

・すべての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。

結線図 (PDC1500)



| | | 商品名 | 型番 | AC100V |
|-------|------------|----------------------------|---|--------------------|
| 適合調光器 | PWM信号制御調光器 | ウォールボックス (ディーパ) | PDC1500 | ※ 25灯まで |
| | | | PDC1000 | ※ 12灯まで |
| 推奨調光器 | ルートロコン製 | ウォールボックス (ディーパ) | DVF-153P-JA5/6+GRX-PWM (インターフェース) | ※ 25灯まで |
| | | グラフィックアイ3000 グラフィックアイQS | GRX-350★-JA+GRX-PWM (インターフェース) QSGR-★PJA+GRX-PWM (インターフェース) | ※ 25灯まで |
| | | LCP128 | LCP128+TVMモジュール LCP128+PWM250モジュール | ※ 20灯まで ※ 25灯まで |
| | | PowPak PWM調光モジュール | RMP-5PWM-DV-B+Picoワイヤレスコントロール RMP-5PWM-DV-B+Radio Powr Savrワイヤレス人感センサー RMP-5PWM-DV-B+Radio Powr Savrワイヤレス昼光センサー | ※ 9灯まで |

【注意】調光範囲は右記指定調光器との組み合わせで5%-100%です。
【注意】調光器の取扱説明書を必ず読んでください。
【注意】右記以外の調光器で使用する場合はご相談ください。

★ゾーンの数に合わせて2、3、4、6の数字が入ります。 ★★ゾーンの数に合わせて4、6の数字が入ります。
※電源1系統は10灯まで
【注意】合計灯数は調光器メーカーの取扱説明書で指定した定格容量以下でご使用ください。